

会 議 録

会議名	令和3年度 第3回印西市子ども・子育て会議
開催日時	令和3年12月22日(水) 午後2時00分から午後3時20分まで
開催場所	印西市文化ホール 多目的室
出席委員	西村 信 委員、山崎 晃生 委員、伊藤 秀賢 委員、武藤 茂 委員、古賀 一人 委員、 岩井 基 委員、石川 真樹子 委員、金子 貴子 委員、塚田 昌幸 委員、篠原 裕子 委員、 荒野 多恵 委員 計 11名
欠席委員	松山 毅 委員 計 1名
出席職員等	[健康子ども部] 部長 酒井 和広 [事務局] 【子育て支援課】 青木 恵巳子、田久保 正樹、海老原 勝人、木村 裕子 [関係課] 【保育課】 澤田 慎一、植木 浩、成田 勝也、【健康増進課】 平川 知恵、 【スポーツ振興課】 三門 宜典、【障がい福祉課】 齊藤 利裕、 【学務課】 佐久間 庸夫、【指導課】 吉野 高明、【生涯学習課】 鈴木 圭一 計 14名
傍聴者	0名
会議次第 議 題	1. 開 会 2. 会長挨拶 3. 議 題 (1) 印西市子ども・子育て会議について 【資料1-1、1-2、1-3】 (2) 令和3年度施設整備の進捗状況について 【資料2】 (3) 令和4年度施設整備について 【資料3】 (4) その他 4. そ の 他 5. 閉 会
配布資料	・令和3年度 第3回印西市子ども・子育て会議 会議次第 ・【資料1-1】 印西市子ども・子育て会議委員名簿 ・【資料1-2】 印西市子ども・子育て会議設置条例 ・【資料1-3】 印西市子ども・子育て会議について ・【資料2】 令和3年度施設整備の進捗状況について ・【資料3】 令和4年度施設整備について

会議概要・審議経過

委嘱状交付式

1 開 会

委員自己紹介

事務局自己紹介

健康子ども部長あいさつ

出席委員11名で定足数を超過していることを報告

資料確認

2 会長及び副会長の選出

3 会長あいさつ

西村会長からのあいさつ

4 議 題

【会 長】 次の議題に入らせていただきます。
会議次第4（1）「印西市子ども・子育て会議について」事務局より説明をお願いします。

(1) 「印西市子ども・子育て会議について」資料1-1、1-2、1-3

○事務局より説明

○質疑 なし

【会 長】 (1)「印西市子ども・子育て会議について」は、事務局の説明でよろしいか。

【委 員】 全員賛成で異議なし。

【会 長】 次の議題に入らせていただきます。
「令和3年度施設整備の進捗状況について」事務局より説明をお願いします。

(2) 「令和3年度施設整備の進捗状況について」資料2

○事務局より説明

○質疑

【A委 員】 当初令和3年度事業計画として幼稚園を整備していくなど、待機児童を減らしていこうという目的があったわけですが、資料2の6番、8番の施設整備の中止があったことで、待機児童への影響あった場合（人数など）に、市としてはどのように考えているのか。

【事務局】 人数の影響については、令和3年度は19名と30名の計49名の整備ができなくなってしまうが、実際に11月いっぱいまで来年4月入園の募集を締め切り、応募の状況については、昨年760名だったところ、今年は860名と申請が毎年増えてきている状態でございます。貴重な49名の受け皿というところで、非常に残念ではありますが、少なからずその影響は出てしまうかと考えております。今回整備出来なかった箇所につきましては、この後の議題3の中で説明させていただきますが、市といたしましては待機児童を解消するという目標で整備を進めておりますので、来年度以降での対応を考えております。

【B委員】 2点ほど質問があります。資料2の7～10番に施設の改修がありますが、待機児童問題などがあると思いますので、それを解消するために、改修に関して市の補助金などについては、市から事業者に対して補助はあるのかということが1点です。もう1点については、資料2の6番と8番が中止ということで、特に8番に関しては事業者の都合による計画の変更という説明がありましたが、6番については地域住民の反対という説明でしたので、地域住民の方への理解と言いますか、市から地域住民に対して説明はしていたのかを、お聞きします。

【事務局】 まず1点目の施設の改修に対しての補助金についてですが、資料2の9番につきましては、保育所等整備交付金という国の補助金で、7番と8番につきましては、賃貸物件になるため保育対策総合支援事業費補助金というような形で、どちらも国の補助金で、国が1/2、市が1/12、事業者が1/4という形の補助金になっており、そちらの補助金を活用して整備を行っております。今後行って行く整備につきましても、国の2つの補助金、県の単独の補助金を活用して整備を行って行こうと考えております。

次に2点目ですが、地域住民の反対ということですが、昨年度に小規模保育園を運営する事業者を公募という形で、募集をかけた中で、リップル保育園及びみらいたきの保育園を運営していただく事業者の2社から応募がありましたが、公募の選考委員会の会議の中で、まず整備する条件としまして、地域住民の理解が得られているということが評価点の項目になっておりました。選考会の時点では、みらいたきの保育園の事業者は、地域住民に説明をして理解は得られたと説明を受けましたが、事業者の説明の仕方が雑であったとか、その時は反対のことを言えなかったなど、後から住民の方からご意見をいただく形となりました。市としましても、必要な施設でありますので、地域の自治会長さんと綿密な話し合いをさせていただきながら、理解いただけるよう説明いたしました。設置する場所は事故が起りやすい交差点で危険な場所のため、駐車場問題が解決できないことには、認められないというご意見がありました。そのため付近の駐車場のほかにも、施設から少し離れた所への整備等の検討をしていましたが、協議が整わず地元住民からの理解を得ることができませんでした。今後整備するにあたっては、地域住民からの御理解は必須になると思いますので、今回このようなことがありましたので、今後確認をしっかりとしていきたいと考えております。

【C委員】 予定していた保育園の受入れができないという中で、子どもを預けることができなかった方々が、一時保育に流れていると聞いています。数年前までは問題なく予約をすれば預けることができていたという現状を聞いていましたが、ここ数年では予約を入れることすらできないという状態が、どこの園でもおきていると伺っております。やはり保育園に入れられなかった皆さんが、利用しているというのは理解できますが、それ以外の方々が利用できないというのが現状なのでしょうか。

【事務局】 一時保育の予約が取りづらいというところで、正式に把握はしておりませんが、状況としましては、新型コロナウイルス感染症の問題から、なかなか外部からの受入れができていない状態です。

もう1点ですが、待機児童が多い中で、各民間の保育園に関しては、定員以上のお子さんを基準の範囲のぎりぎりのところまで預かっている状況です。その中で一時預かりを担当する保育士さんの確保が難しいと推察できるかと思われまます。待機児童がある中で、保育園が足りていない状況ですので、民間保育園及び公立 保育園で一時保育を対応できる保育園については、今後も協力していただけるように依頼してまいりますのでよろしく願いいたします。

【D委員】 補足をさせていただきます。一時預かりについてということで、私の施設でも一時預かりを子育て支援として行ってきましたが、コロナ禍の影響が非常に大きく、保護者の立ち入り自体を園内は制限をして、送迎も1名だけ、行事等の縮小・中止をしており保護者の皆さんにも見ていただけない状況です。見ていただいたとしても人数制限をかけており、当園も休園になり多大なるご迷惑をおかけしてしまい、そういった過敏になっている中で、部外からの一時預かりのお気持ちは分かりますが、受け入れる体制が本当に厳しく、コロナ禍の影響と感じております。また、落ち着き次第子育て支援を行って参りたいと考えております。働かれています方への一時預かりとなりますと、一時預かりの制限があり、時間や日数といった中で、常勤で働かれています方の利用が難しい状況ではありますが、コロナ禍が落ち着いてきましたらこちらについても、子育て支援を行いたいと考えております。

【会長】 (2)「令和3年度施設整備の進捗状況について」は、事務局の説明でよろしいか。

【委員】 全員賛成で異議なし。

【会長】 次の議題に入らせていただきます。
「令和4年度施設整備について」事務局より説明をお願いします。

(3)「令和4年度施設整備について」資料3

- 事務局より説明
- 質疑

【B委員】 コロナ禍で在宅ワークが増えているかと思われまます、この影響はどうあるのかをお聞かせください。

【事務局】 在宅ワークの影響ということですが、実際に自宅で仕事をしていて、お子さんが保育園に行かないで面倒を見る方もいるかと思いますが、実際には家で仕事をしている時間については、保育園で預かってほしいということから保育園に通われている子もいれば、家に親がいるので保育園をお休みしている子がいるなど、いずれのケースもある状態です。

【E委員】 施設整備をするためのデータを集めるには、どの程度の頻度で集めているのか、また、見込みなど将来的な計画はどの程度の頻度で行われているのか教えていただきたい。

【事務局】 「いんざい子育てプラン」については作成が令和2年の3月ですが、計画期間が5年となっています。計画策定から5年後にはまた新しいものを作りますので、そこで人口統計などを細かく分析をしていきます。

また、資料3の新子育て安心プラン実施計画ですが、こちらについては全国で一斉に毎年調査が行われておりまして、基本的にこれを提出するにあたっては、待機児童を0にするよう計画が位置づけられているため、その年ごとに翌年の待機児童が0になるように、こちらのプランから修正を加えて県を通して国に報告しております。

【会長】 (3)「令和4年度施設整備について」は、事務局の説明でよろしいか。

【委員】 全員賛成で異議なし。

(4) その他

○質疑

【委員】 特になし。

4 その他

○事務局より連絡事項等

- ・次回会議予定について
- ・委員報酬について

5 閉会

令和3年度第3回子ども・子育て会議の会議録は事実と相違ないことを承認する。

令和 4年 1月19日

子ども・子育て会議委員 武藤 茂

子ども・子育て会議委員 古賀 一人